

## ごあいさつ

皆さまには、平素より筑邦銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。このたび、当行では皆さまに一層のご愛顧を賜りたく、平成25年度の業績や取組みなどについてご説明した「筑邦銀行ディスクロージャー誌ちくぎん2014」を作成いたしました。ご一読いただき“ちくぎん”を身近に感じていただければ幸いに存じます。

平成25年度のわが国経済は、政府の経済政策などによる円高の修正を背景に雇用情勢の改善や企業の設備投資に持ち直しの動きが見られました。また、消費者マインドが改善され個人消費が増加したほか、消費税率引上げに伴う駆け込み需要もあって、全体としては緩やかな回復の動きが続きました。一方で、世界経済の下振れ懸念など海外景気は不透明な状況が続きました。

また当行の営業基盤である福岡県内の経済は、資産効果による消費の拡大、生産や輸出の持ち直しなどから全体的には緩やかながらも改善しましたが、人材確保や燃料費高騰に苦戦し、中小企業の景況感は依然として厳しい状況が続きました。

こうしたなか、平成24年度に創立60周年を終え、新たな一歩を踏み出した平成25年度には、若い世代をはじめ幅広い世代のお客さまに親しみを持っていただけるよう通帳デザインを変更いたしました。昨年6月から動産・売掛債権担保融資（A B L）への取り組みを強化するとともに、みやま市の太陽光発電事業へのプロジェクトファイナンス型融資や、みやき町の定住促進事業へのPFI融資など、事業から生み出されるキャッシュフローを担保にした融資も行いました。さらに地域の発展にリスクマネーを供給する仕組みとして約30億円のちくぎん地域活性化ファンドを組成いたしました。

当行は「中期経営計画2012」（平成24年4月～平成27年3月）に沿って“地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行”を目指すべき姿として、すべての役職員が複眼的視野を持ち、お客さまに対して提案力の発揮に努めるよう日々努力を重ねております。

当行のソリューション事業部は、農業の6次産業化、プロジェクトファイナンス、医療介護ビジネス、事業継承などの分野でお客さまのニーズにお応えしております。既に1,200社以上の会員を抱えるちくぎん地域経済研究所は経営コンサルティング、ビジネスマッチングなど産・官・学・金のネットワークを最大限に活用しお客さまのお役に立つよう努力しております。

このように当行グループ全体で地域社会に貢献すべく、諸施策に全力で取り組んでおりますので、今後ともなお一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成26年7月



頭 取 佐藤 清一郎